

## 国道1号 原宿交差点の東京方向のトンネルが開通します。

### —記者発表資料—

神奈川県内渋滞ワースト1の解消に向けて、  
国道1号 原宿交差点の東京方向（上り線）のトンネルが、  
平成21年4月4日（土）10時頃に開通します。

引き続き、残りの部分の工事を行い、トンネルの全線開通は、  
平成22年の予定です。

平成 21 年 3 月 6 日（金）

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

#### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会  
神奈川県政記者クラブ 横浜市政記者会 横浜ラジオ・テレビ記者会

#### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所  
電話 045-311-2981（代表）

計画課長	<small>とがわ</small> 外 川	<small>かすひこ</small> 和 彦	（内線261）
調査課長	<small>まつもと</small> 松 本	<small>みつひで</small> 光 秀	（内線461）

# 原宿交差点改良事業の概要

## ○概要と目的

国道1号原宿交差点は、その前後が横浜新道、新湘南バイパスといった自動車専用道路で整備されており、多様な交通が集中し渋滞しています。本事業区間は、県内渋滞ワースト1であり、その渋滞損失額は年間約100億円になります。

原宿交差点改良は、国道1号と環状4号との交差点を立体化(国道1号を地下へ)し、国道1号の通過交通と環状4号との出入り交通を分離することによって、交通混雑を解消し、横浜市の放射・環状方向の円滑な交通を確保することを目的に計画されたものです。

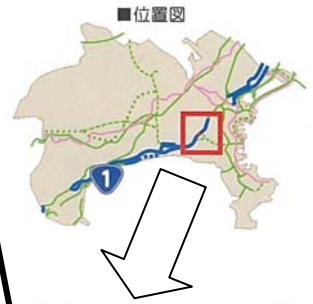
原宿交差点に向かう車の渋滞



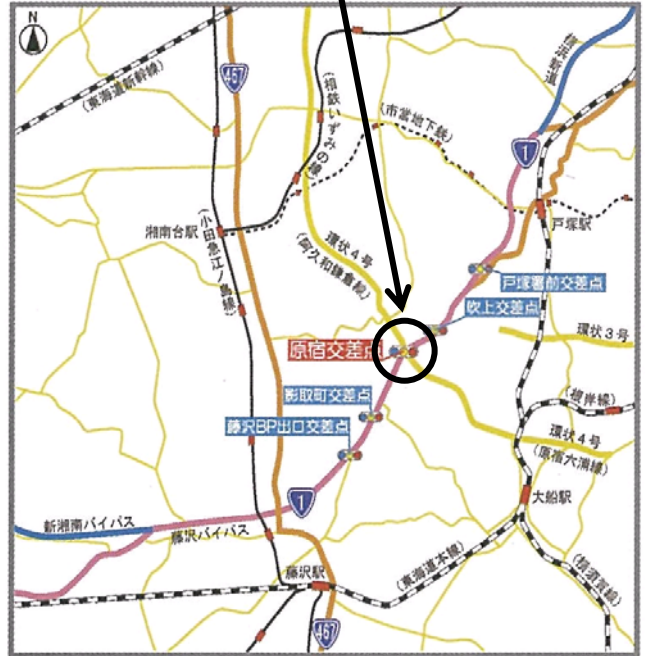
戸塚区影取町の歩道橋から原宿交差点方面(東京方面)を撮影(19:00頃)

## ○位置図

原宿交差点改良事業  
約830m  
今回開通は2車線



## ●原宿交差点の位置



## ○これまでの経緯

昭和63年	1月	都市計画決定
平成3年	7月	用地取得着手
平成18年	4月	用地買収完了
平成19年	2月	トンネル工事着手
平成21年	4月4日	東京方向トンネル開通

## ○諸元等

区間	:	横浜市戸塚区原宿地先
延長	:	約830m
道路区分	:	第4種第1級
設計速度	:	本線部(トンネル部) 60km/h 側道部 40km/h
車線数	:	(将来) 本線部(トンネル部) 4車線 側道部 2車線
	:	(H21.4開通時) 本線部(トンネル部) 2車線(東京方向) 側道部 1車線(東京方向) 平面部 2車線(藤沢方向)

# ○原宿交差点の渋滞状況

至) 湘南台

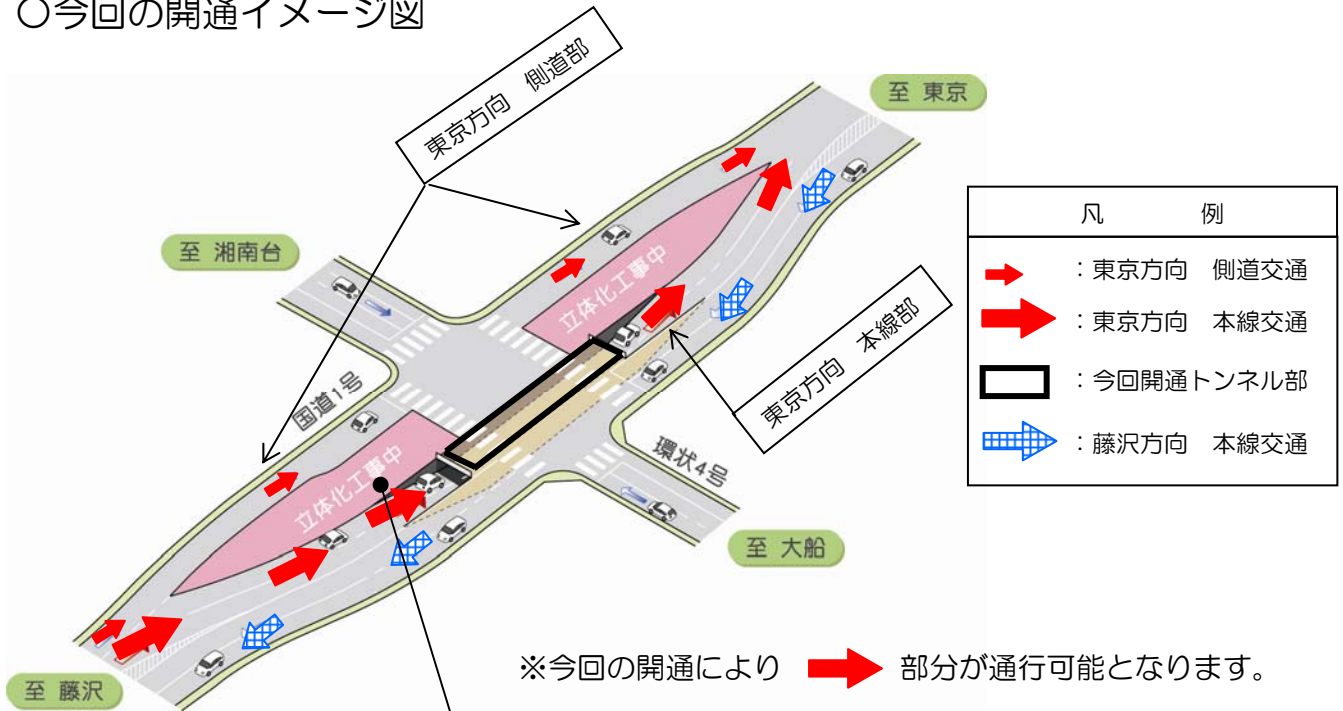


至) 東京

至) 藤沢

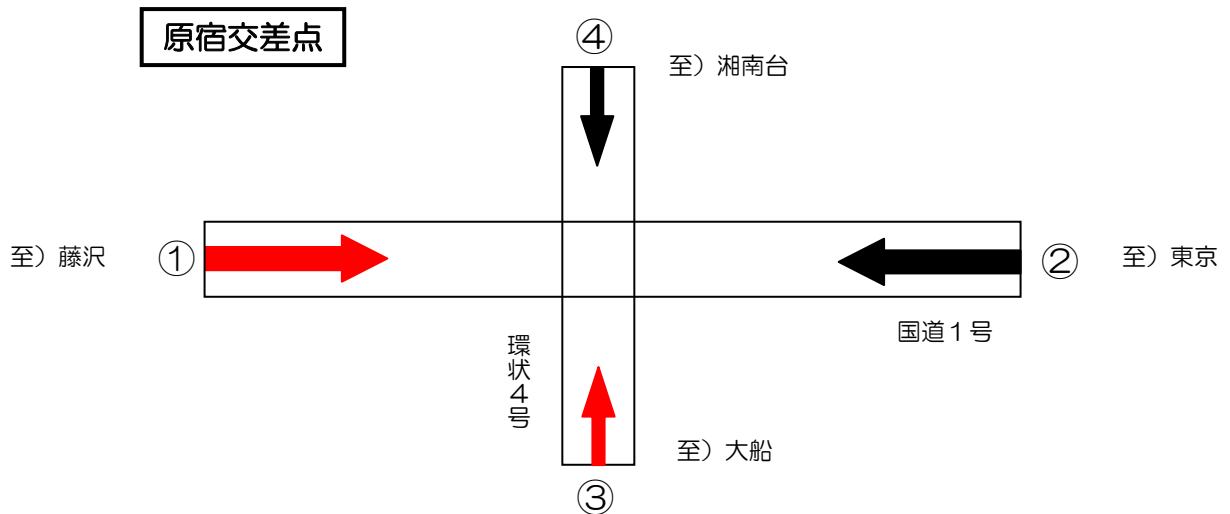
至) 大船

# ○今回の開通イメージ図



● 部分につきましては、平成22年の完成に向けて鋭意工事を行っています。

## ○トンネル全線開通時の整備効果（参考）



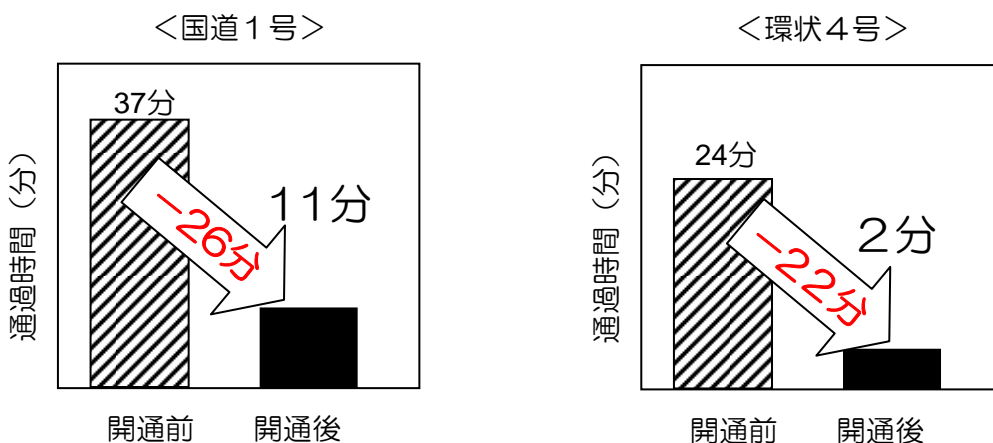
### ・原宿交差点通過時間が減少します。

国道1号 ①の方向（藤沢から原宿交差点）で  
最大**26分**の減少が見込まれます。

国道1号 ②の方向（東京から原宿交差点）で  
最大**17分**の減少が見込まれます。

環状4号 ③の方向（大船から原宿交差点）で  
最大**22分**の減少が見込まれます。

環状4号 ④の方向（湘南台から原宿交差点）で  
最大**5分**の減少が見込まれます。



### ・排出ガスが減少します。

二酸化炭素で約600 t / 年削減。  
（横浜スタジアム約22個分の森林面積の二酸化炭素吸収量に相当）